

露地ナス害虫のIPM

～天敵の“ちから”を活用した露地ナスの栽培～

ソルゴのアブラムシ類を食べる天敵が出現、増殖



ナミテントウ



ダンダラテントウ



ヒメヒラタアブ



ヤマトクサガゲロウ



ショクガタマバエ

天敵にやさしい農薬の使用により保護



ヒメハナカメムシ



ササグモ



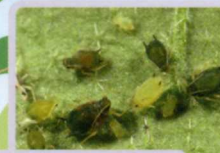
農薬

天敵が害虫を
食べる

ソルゴのアブラムシ類
だけでなく、ナスの害虫
も捕食。



ヒラズハナアザミウマ



ワタアブラムシ

ナス畑にいる
天敵なども
保護され、
害虫を食べる

ソルゴに
アブラムシ類が
発生



トウモロコシアブラムシ

ソルゴ

ソルゴに
アブラムシ
類が発生



ヒエノアブラムシ

ソルゴ

ナス

ナスのそばにソルゴを植えると…

- 1 ソルゴにアブラムシ類が発生。
- 2 ソルゴのアブラムシ類を食べる天敵が出現、増殖。
- 3 天敵がソルゴのアブラムシ類だけでなく、ナスの害虫も捕食。
- 4 天敵にやさしい農薬を使用することにより、ナス畑にいるクモなども保護。



ナスが害虫から守られる！



IPM (総合的病害虫・雑草管理)

化学農薬のみに頼らず、天敵や物理的な防除法など、様々な防除法を総合的に組み合わせ、病害虫や雑草の発生を抑える技術のことです。人や環境への負荷を軽減、あるいは最小限にとどめることを目指します。

ソルゴーを活用した露地ナスの栽培方法

露地ナスは栽培が長期にわたり、アザミウマやアブラムシ、ハダニなどの害虫も多く、薬剤の散布回数が多い作物です。近年、ナス畑の周囲にソルゴーを栽培し、土着天敵を活かした減農薬栽培が進んできています。ソルゴーのは種時期・品種選択、害虫と天敵の知識などへの理解が必要ですが、これらの技術を活用して、農薬散布回数を削減したナス栽培に取り組みましょう。



ソルゴーを活用したナスほ場 イメージ図



ソルゴーで囲われたナスほ場

栽培のポイント

- ◆ ソルゴーは草丈の高低、出穂の性質など異なる品種が多くあります。天敵のエサとなるアブラムシの発生が良好、生育旺盛で倒伏しにくい「風立」などがお勧めです。
- ◆ ソルゴーは、4月中旬～5月中旬に、は種しましょう。元肥はナスと同じです。
- ◆ ソルゴーに農薬がかからないようにしましょう（天敵温存のため）。また、ソルゴーが出穂したら穂を刈り取りましょう。
- ◆ ソルゴーを障壁として栽培することで防風効果（スレ果の防止）、農薬散布の飛散抑制が期待できます。また、栽培後、ソルゴーを畑にすきこむことにより緑肥効果も望めます。ナスに使用する薬剤は天敵に影響の少ないものを選択しましょう。
- ◆ 地域や年によって害虫や天敵の発生は異なります。農薬を施用する際は、最新の防除指針を参考にするとともに、同じ系統の薬剤を連用しないようにしましょう。

注意点

- ・ ソルゴーに発生するアブラムシの甘露をなめにミツバチやスズメバチが飛来する恐れがあります。
- ・ 殺虫剤の使用削減により、オオニジュウヤホシテントウやホコリダニ等の被害が発生することがあります。害虫の発生状況に注意して下さい。

常にほ場観察を行い、害虫の発生状況を確認することが大切です。防除適期を逃さないことで、ナスを害虫から守りましょう！



詳しい内容や技術的相談は、下記までお願いします

- ・ 農林水産部食料安全室 TEL: 03-5320-4834
- ・ 農業振興事務所技術総合調整係 TEL: 042-548-5053
- ・ 病虫害防除所 TEL: 042-525-8236
- ・ 農林総合研究センター生産環境科 TEL: 042-528-0520

- ・ 中央農業改良普及センター TEL: 042-465-9882
- ・ 南多摩農業改良普及センター TEL: 042-674-5971
- ・ 西多摩農業改良普及センター TEL: 0428-31-2374